

九州歯科大学中期計画に対する意見と回答

各委員の意見		左記の意見に対する回答	中期計画 修正箇所				
NO	内容		項目番号(頁)	項目名	実施事項(前文は修正後の行数)	修正前	修正後
1	前文に、こういう人材を育成するといった宣言的あるいはキャッチフレーズ的な分かりやすい表現があったほうがいい。	○「的確な判断力と高い技術力のもとより、乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の健康管理が行える歯科医師」	(1P)	前文	(7行目)		(全文追加) 「近年、国民の健康管理について医学・歯学の研究成果が蓄積され、この分野において両者を融合する教育研究領域が形成されつつある。このような動きのなかで、これからの歯科医師には、これまでのような院内での歯科治療に加えて、ヘルスプロモーションに力点を置いた歯科保健活動や高齢者の食べる機能を回復させる摂食機能リハビリテーションなどが求められる。 そこで、公立大学法人九州歯科大学では、豊かな人間性と探究心を育む歯科医学教育を学生に提供し、的確な判断力と高い技術力のもとより、乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の健康管理が行える歯科医師を育成する。」
2	前文に、歯科医療を取り巻く社会的問題から書いたほうが、歯科に詳しくない者にとって分かりやすい。	○社会状況から育成する人材像を説き起こす。 医学・歯学分野の状況 ↓ これからの社会で求められる歯科医師 ↓ 歯科大で育成する歯科医師	(1P)	前文	(1行目)		
3	教育の特色づくり ・コンパクトな大学でやっていくには、いかに個性を發揮するかにかかっている。これは日本一というような特徴を、具体的に盛り込むべきである。 ・歯科大の特色(お家芸等)をどう出していくかを具体的に考えるべきである。	○教育の特色 ・小規模大学としての特色 チュートリアル教育、少人数グループ学習の充実 ・従来からの得意分野の教育の充実 口腔外科、歯科矯正科、歯周病科のカリキュラム改善 ・新たな開拓分野の教育の充実 高齢社会でのニーズが高い摂食機能リハビリテーション分野の充実	(1P)	前文	(28行目)	(2) 「高い倫理観を持った歯科医師を育成するために、医の倫理を培う素養教育を充実させる。さらに、早い時期から探究心を身につけ、主体的かつ能動的に学習する学生を育てることを目的として、教育手法としてチュートリアルを積極的に導入する。」	(下線は追加部分) (2) 「主体的かつ能動的に学習する学生を育てることを目的として、探究心を身につけさせる手法として有効である少人数グループ学習やチュートリアル教育を、早い時期からより多くの履修科目に導入する。」
			(2P)	前文	(1行目)	(4) 「高度な専門性を有し、先端医療を行うことができる歯科医師を育成するために、口腔外科、歯科矯正科、歯周病科、および摂食機能に障害を持つ要介護高齢者の歯科保健医療を担当する摂食機能リハビリテーション科などの専門診療部門の強化を図り、臨床教育を充実させる。」	(4) 「高度な専門歯科医療の継承者を育成していくために、口腔外科、歯科矯正科、歯周病科などの専門外来での臨床教育を強化する。あわせて、 <u>新たな患者ニーズに対応可能な歯科医師を育成するために、要介護高齢者の歯科保健医療を担当する摂食機能リハビリテーション科における臨床教育を充実させる。</u> 」
4	卒業生が開業したら、病院を経営しなければならない。病院経営に役立つカリキュラムが必要ではないか。	○開業医として必要となる医療経営学や社会保険制度に関する教育の充実	(1P)	前文	(34行目)	1. 教育 (3) 「歯科保健医療を通じて社会に貢献する医療人を育成する。ここでは、知識および技術教育に加えて、患者の痛みを理解し、円滑な意思疎通ができる歯科医師の育成に力点を置き、態度教育を充実させる。さらに、卒業後、地域社会における歯科保健医療分野で、リーダー的な存在として社会貢献できる人格を有する人材を育成する。」	(下線は追加部分) 「知識・技術教育に加えて、患者の痛みを理解して円滑な意思疎通ができる歯科医師育成を目指した態度教育を充実させ、医療の現場で必須の医療コミュニケーション能力を有する歯科医師を育成する。さらに、 <u>医療経営や社会保険に関する教育も行い、地域医療の現場で即戦力となるような歯科医師を育成する。</u> 」
			1-1(4P)	地域の発展に貢献する歯科医師の育成	実施事項3	実施事項3「的確な判断能力、治療技術力の育成」 ①豊富な事例を通して、患者の訴えや症状から、疾病原因の正確な診断や最適な治療方法を見出すことのできる能力を身につけさせる。 ②臨床実習において、技術力や診断能力が身につけているか厳格に評価する。 ③歯科臨床に対する高い意識と研究心を養うため、研究室配属を5年生すべてを対象に行う。 ④医療に携わる者としての使命感を育成するため、口腔保健活動や救急車同乗実習などを充実する。	(内容⑤を追加 下線は追加部分) ①～④ 同左 ⑤医療経営および社会保険制度に関する教育を充実する。

各委員の意見		左記の意見に対する回答	中期計画 修正箇所				
NO	内容		項目番号(頁)	項目名	実施事項(前文は修正後の行数)	修正前	修正後
5	附属病院をどうしようと考えているのかを明確にしたほうがいい。(臨床教育の場か、高度歯科医療の場か。)	○学生の教育のための、臨床教育の場	(2P)	前文	(19行目)	(前文の項目) 1.教育、2.研究、3.社会貢献、4.業務運営、5.財務、6.評価、7.情報公開	(項目を追加) 4.病院経営 九州歯科大学附属病院では、実践的な臨床教育を行いながら、一層の地域医療サービスの向上と経営の効率化を目指していく。さらに、専門外来に熟達した技術を有する歯科医師を配置し、先進医療や要介護者の摂食リハビリテーションなどに対応した個性ある病院づくりを進める。
6	附属病院の経営効率化について、どこが問題で、どう改善しようとしているのかが分からない。	○附属病院経営の問題点 ①入院患者数の減少等による診療収入の減少 ②医師・職員の効率的配置 ③歯科材料の効率的管理 ○改善策 問題点①に対する改善策 → 実施事項1 問題点②③に対する改善策 → 実施事項2	5-3 (16P)	附属病院経営の改善	項目	附属病院経営の効率化 医療サービスの向上や経営の効率化を図る。	(下線は修正部分) 附属病院経営の改善 医療サービスの向上等による患者の確保、業務の見直し等による人員の効率的配置、経費の削減を通じ、経営改善を図る。
					実施事項1	実施事項1「地域医療サービスの向上の推進」 ①摂食機能リハビリテーション科を中心として、要介護者の摂食・嚥下のリハビリテーションを行う。 ②歯科医師会等との連携を強化し、訪問診療・病診連携・病病連携の体制を充実させる。 ③地域住民との懇談会を設置し、患者ニーズの把握及びサービスの徹底を図る。	(内容④⑤を追加 下線は追加部分) ①～③ 同左 ④ボランティアの受け入れを行う。 ⑤口腔健診業務への参入を図る。
					実施事項2	実施事項2「経営の効率化を推進するためのシステムの構築」 ①教職員の適正配置を行い、専門外来における先進治療(インプラント義歯など)を進める。 ②治療や看護の手順を標準化し、診療の効率化を図るクリティカル・パス(標準的な臨床指針)を導入する。 ③附属病院の薬剤業務を院外処方にし、薬剤師は入院患者への薬剤情報提供を専門に行い、入院患者へのサービスを図る。 ④附属病院のホームページを利用した診療に関するサービスを提供する。	(内容⑤及び評価指標を追加 下線は追加部分) ①～④ 同左 ⑤歯科材料を効率的に流通させるシステムを導入し、材料費の削減を図る。 評価指標：医療材料費率 達成目標：18年度中に適正な医療材料を明確にして、数値目標を設定する。
7	入学試験の方法が多様化してきており、評価指標として偏差値はあてにならない。	○偏差値に代えて、「センターランク」を使用 達成目標は、17年度、18年度の平均ランク83%以上に設定	1-2 (6P)	適正のある優秀な人材の確保・育成	実施事項1	評価指標及び達成目標 評価指標：偏差値 達成目標：推薦入試 偏差値6.0 一般入試 偏差値5.9	(下線は修正部分) 評価指標：センターランク 達成目標：83%以上

福岡県立大学中期計画に対する意見と回答

各委員の意見		左記の意見に対する回答	中期計画 修正箇所				
NO	内容		項目番号(頁)	項目名	実施事項(前文は修正後の行数)	修正前	修正後
1	<p>・前文に、こういう人材を育成するといった宣言的あるいはキャッチフレーズのな分かりやすい表現があったほうがいい。</p> <p>・看護学部と人間社会学部が一体となり、新しい看護や福祉の分野の人材像を生み出し、それに沿った人材を輩出するモデルケースであってほしい。</p>	<p>○「ケアを必要とする人々に、より良いサービスを提供するため、保健・医療・福祉の総合的なマネジメントができる人材」</p>	(1P)	前文	(10行目)	<p>「健やかで心豊かな福祉社会に十分に貢献できる専門的職業人を育成するため、教養教育では、…」</p>	<p>(下線は修正部分) 「公立大学法人福岡県立大学は、人間社会学部と看護学部を有する総合的な福祉系大学として、両学部が共同して取り組むべき複合領域において学際的な教育を行い、ケアを必要とする人々に、より良いサービスを提供するため、保健・医療・福祉の総合的なマネジメントができる人材を育成する。教養教育では、…」</p>
2	<p>・コンパクトな大学でやっていくには、いかに個性を発揮するかにかかっている。これは日本一というような特徴を、具体的に盛り込むべきである。</p>	<p>○両学部の連携により、専攻分野にとどまらない、保健・医療・福祉の総合的な知識・技術を学べる教育を実施</p>	1-2 (5P)	専門教育の充実	実施事項5	<p>実施事項5「他の学部・学科の専門領域を学べる教育プログラムの導入」 地域社会の保健・福祉課題の解決に向けて関連職種等と協働できる専門職業人を育成するため、他の専門領域を学ぶことができる教育プログラムを設置する。 看護領域の学生は福祉領域・心理領域の分野、福祉領域の学生は看護領域・心理領域の分野、保育系の学生は看護・心理領域の分野を学ぶなど。</p>	<p>(内容②を追加 下線は追加部分) 地域社会の保健・福祉課題の解決に向けて関連職種等と協働できる専門職業人を育成するため、他の専門領域を学ぶことができる教育プログラムを設置する。 ①看護領域の学生は福祉領域・心理領域の分野、福祉領域の学生は看護領域・心理領域の分野、保育系の学生は看護・心理領域の分野を学ぶなど。 ②また、両学部の学生が、専門性の違いから来る認識の違いや、相互連携の必要性等を一緒に学習する教育プログラムを平成21年度の実施に向けて検討する。</p>
3	<p>地域課題への取り組み</p> <p>・県の抱える保健医療の問題に取り組む姿勢があまり感じられない(老人医療費日本一など)。</p> <p>・県の課題に取り組むに当たっては、看護系・福祉系・社会系と一緒に取り組めるフィールドとして医療・老人保健・訪問看護等の複合的施設を活用するなど、使える材料を取り上げる姿勢が必要である。</p>	<p>○大学で取り組む福岡県の抱える課題「老人医療費問題」 福岡県老人医療費問題対策協議会が、4つの目標を提言 ①健康寿命の延伸 ②良質で効率的な医療の提供 ③適切な受診の促進等 ④終末期医療に係る社会的合意形成</p> <p>○両学部の専門的知識・技術を活用し、附属研究所を中心に「①健康寿命の延伸」に取り組む。 ①研究 ・生活習慣病予防や要介護予防などの研究の推進 ②社会貢献 ・新生児から高齢者までを対象とした健康教育 ・要介護予防のためのミニデイサービス事業 ・健康づくり・発達障害などに関する相談・支援</p> <p>○複合的施設の活用等については、今後検討</p>	(1P)	前文	(1行目)	<p>「公立大学法人福岡県立大学は、少子高齢化社会が抱える諸問題の解決を福岡県立大学の使命とした中期目標を達成するために中期計画を遂行する。」</p>	<p>(全文修正) 「平成9年に策定された福岡県の中長期計画「ふくおか新世紀計画」には6つの柱があり、その一つとして、誰もが安心して健やかに生涯を送るとともに、個人として尊重され、個性と能力を生かして活躍できる「健やかで心豊かな福祉社会づくり」が掲げられている。 この実現へ向けて、現在、保健・医療・福祉サービス分野において、多様な施策が実施されているが、なお多くの重要な課題がある。 例えば、社会の急速な高齢化や医療技術の高度化などを背景に、わが国においては老人医療費が大きく伸びており、そのなかでも福岡県は全国平均と比較して非常に高い水準で推移している。 このような課題は、疾病の予防や高齢者の生きがいづくりなど、医療や看護、福祉等の専門領域を越えて総合的な視点から捉えなければ解決することはできない。」</p>
					(29行目)	<p>「学術研究においては、附属研究所を組織し、長期的視点に立った教育研究の質的向上を図るとともに、社会的・地域的要請に資する研究の体制を重点的に整備し、競合大学との差別化を図る。」</p>	<p>(下線は追加・修正部分) 「学術研究においては、附属研究所を組織し、長期的視点に立った教育研究の質的向上を図るとともに、「健康寿命の延伸」など「健やかで心豊かな福祉社会づくり」に寄与する研究、社会的・地域的要請に資する研究の体制を重点的に整備し、競合大学との差異化を図る。」</p>

各委員の意見		左記の意見に対する回答	中期計画 修正箇所				
NO	内容		項目番号(頁)	項目名	実施事項(前文は修正後の行数)	修正前	修正後
3			2-1 (P11)	特色ある研究の推進	実施事項1	<p>実施事項1 「付属研究所に従来の生涯福祉研究センターと新たにヘルスプロモーション実践研究センターを組織し、両学部が連携した学際的な研究プロジェクトを実施」</p> <p>②福岡県行政（保健福祉部等）、福祉機関、学校教育機関等と連携し、地域の福祉研究を実施する。</p>	<p>(下線は追加部分)</p> <p>②福岡県行政（保健福祉部等）、福祉機関、学校教育機関等と連携し、地域の福祉研究（<u>地域の老人医療・介護に関わる問題等</u>）を実施する。</p>
4	育成する職種が決まっている場合は、他大学の学生より、県大の学生を採用して良かったというような職場評価を入れると良い。	○「就職後の追跡調査」の調査項目に、職場における評価を設定し、より有用な調査を実施 ・評価指標に「職場からの評価」を追加、達成目標を80%以上に設定	1-6 (P10)	学生への支援	実施事項2	<p>実施事項2 「卒業生への支援」</p> <p>①就職後の追跡調査を定期的実施することにより、早期にミスマッチ状況を把握し、適切な就職指導を行う。このことにより、卒業生及び就職先との信頼関係を築くことができる。</p>	<p>(評価指標、達成目標を追加 下線は追加部分)</p> <p>評価指標：<u>職場からの評価</u> 達成目標：<u>良好評価80%以上</u></p>
5	入学試験の方法が多様化してきており、評価指標として偏差値はあてにならない。	○偏差値に代えて、「センターランク」を使用 達成目標は、4学科の平均値である70%以上に設定	1-4 (P8)	学生の確保	実施事項1	<p>評価指標及び達成目標</p> <p>評価指標：<u>偏差値</u> 達成目標：<u>52以上</u></p>	<p>(評価指標、達成目標を修正。下線は修正部分)</p> <p>評価指標：<u>センターランク</u> 達成目標：<u>70%以上</u></p>

福岡女子大学中期計画に対する意見と回答

各委員の意見		左記の意見に対する回答	中期目標・中期計画 修正箇所					
NO	内容		目標・計画の区分	項目番号(頁)	項目	実施事項(前文は修正後の行数)	修正前	修正後
1	前文に、こういう人材を育成するといった宣言的あるいはキャッチフレーズ的な分かりやすい表現があったほうがいい。	○女性の自立性とリーダーシップを育てる。	中期計画	(1P)	前文	(25行目)		<p>(全文追加)</p> <p>私たちは教養教育を重視します。教養を通じて現代を生きる知恵を学び、思考力と理解力、洞察力を身につけます。また就学中に社会活動を実践し、女性の能力を引き出す授業内容を充実させ、共学大学では埋没しがちな女性の「自立性とリーダーシップ」を育てます。</p> <p>私たちは独自に、「女性の全生涯を見通して捉えたキャリア教育・生涯教育」のシステムを開発します。この教育では女性の全生涯を見渡す立場から、「①中学・高校から大学にわたる修学期、②就労・育児期、③壮年・高齢期」の代表的な三期間に分けて、それぞれに適切な学習プログラムを提供します。公立の女子大学として、女性の全生涯を真に捉える立場から、全女性にひとつの教育モデルを開発し提案します。</p>
2	国際文化関連科目 「国際経済学」が例として載っているが、単なる経済学部でやるものとの違いをどう書くかが課題である。	○文学部で言語や文学を学ぶ上で必要な、自国・他国文化の総合的知識を教授	中期計画	1-2(5P)	専門教育	実施事項1	<p>文学部：学部共通科目としての「国際文化科目」群の設置</p> <p>学際的・国際的観点から日本と世界を考える視野を養う教育を行うために、平成18年度から文学部共通科目として全学生に「国際文化科目」群を課し、20単位を必修とする。</p>	<p>(全文修正)</p> <p>文学部：国際文化関連科目の充実</p> <p>国際社会における「人間と文化」の相互関係を理解し、多文化共生の方法を探ると同時に、自国の特色ある文化の創造に寄与する人材を養成するために、国際文化科目を充実する。ここでは広義の文化（社会・経済・政治・思想・芸術）を理解する総合的知識を与える授業を行う。 （「国際関係論」「国際政治学」「国際経済学」「国際社会学」など）</p>

各委員の意見		左記の意見に対する回答	中期目標・中期計画 修正箇所					
NO	内容		目標・計画の区分	項目番号(頁)	項目	実施事項(前文は修正後の行数)	修正前	修正後
3	<p>大学改革</p> <ul style="list-style-type: none"> コンパクトな大学でやっていくには、いかに個性を發揮するかにかかっている。これは日本一というような特徴を、具体的に盛り込むべきである。 女子大をどう改革していくか、抽象論的で具体性に欠ける。具体的方向か、それをいつまでに出すと宣言したほうがいい。 辞退者が多いなど問題点が多い。学部名の変更を含め、内容を具体的に変える必要がある。 福岡に近いアジアを視野に入れ、英語だけでなくアジアの言語の専門的な内容を加えるなど、抜本的な改革が必要である。 	<p>○文学部の履修コース設置案では、抜本的な教育内容の見直しにはなり得ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> コース設置案は取り下げる。 平成19年度までに大学全体の教育組織及び教育内容の抜本的改革案を検討・作成する。 中期目標・中期計画に、抜本的改革の実施を盛り込む。 	中期目標		前文		福岡女子大学は、その歴史と伝統を大きな資源とし、学生の自主性・自発性を喚起する教育を行い、職場、家庭、地域など社会の様々な分野において重要な役割を担うことができる優秀な女性を育成することを使命とする。	(下線は追加部分) 福岡女子大学は、その歴史と伝統を大きな資源とし、学生の自主性・自発性を喚起する教育を行い、職場、家庭、地域など社会の様々な分野において重要な役割を担うことができる優秀な女性を育成することを使命とする。 <u>今後、福岡女子大学は、受験生の動向や卒業生の状況などの検証を行い、学部学科を含めた抜本的な改革に早急に取り組まなければならない。</u>
				1. 教育		(教育の項目) a. 特色ある教育の展開 b. 教員の教育能力の向上 c. 優秀な学生の確保・育成 d. 就職支援の充実	(項目を追加 下線は追加部分) a~d 同左 e. <u>大学改革の推進</u> <u>受験生の動向や学生の就職状況等を踏まえ、大学全体の教育組織及び教育内容の抜本的改革に取り組む。</u>	
			中期計画	1-1 (3P)	教養教育	実施事項4	(評価指標 TOEICの達成目標) 文学部 <u>・英語コミュニケーションコース 650点以上 80%</u> <u>・英米言語文化コース 650点以上 80%</u> <u>・国際文化コース 550点以上 80%</u> <u>・日本語文化コース</u> <u>・日本語教育コース 500点以上 80%</u> 人間環境学部 500点以上 80%	(下線は修正部分) 文学部 <u>・英文学科 650点以上 80%</u> <u>・国文学科 500点以上 80%</u> 人間環境学部 500点以上 80%
				1-2 (5P)	専門教育	項目	1. 文学部 国文学・英文学の基礎的知識とともに、今日の高度情報化国際社会に対応できる高い語学力と国際性・社会性・文化理解力を備えた学生を育てる。 <u>この教育体制によって、専門教育の実質内容は「人文科学・社会科学融合型」に転換する。</u>	(下線は修正部分) 1. 文学部 国文学・英文学の基礎的知識とともに、今日の高度情報化国際社会に対応できる高い語学力と国際性・社会性・文化理解力を備えた学生を育てる。 <u>全学的な「大学改革の推進」(中期計画・項目1-8)に沿った抜本的改革を行う。</u>
			実施事項2	文学部：言語文化・社会科学を基礎素養とする新しい履修コースの導入	(実施事項2 全文削除)			
			1-8 (14P)	大学改革の推進	項目 実施事項1		(個表1-8の追加) 項目：大学改革の推進 理事長のもと、福岡女子大学の教育組織及び教育内容の抜本的な改革を推進する。 実施事項1：改革案の検討・作成 ・理事長のもと、全学的な検討のための組織を立ち上げて検討を行う。 ・労働市場や学生のニーズ等、マーケティングを行う。 ・学部・大学院を含め、大学全体の教育組織、教育内容を見直す。 ・19年度までに改革案を検討・作成し、中期計画の変更を行う。	